

早いもので、6年生が畠部小学校に通えるのもあと12日となってしまいました。1年生～3年生の人は13日、4、5年生の人は14日です。

今年度、最後の全校集会では、「生きる力」について一緒に考えてみたいと思います。

この日本の学校教育では、「生きる力」をみなさんにつけることが目標になっています。幸せに生きていくための「生きる力」とは、どんな力だと思いますか。

頭の中に思い浮かびましたか。

昔、教室でこの質問をしたら、「生きる力」とは、食べる力である。

という人がいました。確かに、「食べる力」は大切です。しっかり食べる力があれば、健康になって、幸せに生きることができそうですね。つまり、この答えは、大正解ですね。でも、この問題の正解は1つではありません。他にもたくさん考えることができそうです。

その教室ではこのような答えも返ってきました。

- ・「生きる力」とは、夢を信じる力である。
- ・「生きる力」とは、笑顔をつくり出す力である。
- ・「生きる力」とは、感情や夢のことである。
- ・「生きる力」とは、希望と助け合いと絆のことである。

みなさんも、自分なりの「生きる力」を考えることができればいいですね。

ちなみに、校長先生の考える

「生きる力」とは、幸せを感じ取る力である。

世の中には、お金や地位があっても、つまらなそうな顔をしている人がいます。何不自由のない生活をしているのに、不平ばかり言っている人もいます。また、そのような人とは逆に、他の人から見たら、つらそうでも、いつもニコニコしている人もいます。何が違うのでしょうか？それは、幸せを感じ取るアンテナの違いだと、校長先生は思います。

幸せを感じ取る力が弱い人は、身の回りの小さな幸せに気付くことができず、足りないことや不満なことに目が行きます。周りに感謝するどころか文句ばかり言うことになります。そうなると、自分だけでなく周りの人も楽しくありませんよね。

それに比べて、幸せを感じ取る力が強い人は、身の回りの小さな幸せを見付けることができます。そして、そのことを感謝することができます。感謝することができるのですから、自然に周りの人たちにも優しくなります。当然、周りの人たちからも優しさのお返しが返ってきます。どんどん前向きな気持ちになっていきます。きっと幸せな人生を送ることができるはずです。

「ありがとう」を素直に言える人や、日常の当たり前に感謝できる人などは、幸せのアンテナの感度が高い人ということができます。

校長先生は、みなさんに幸せな人生を送ってほしいと思っています。ぜひ、自分の幸せを感じ取る力を磨いて、身の回りのことに感謝できる人になってください。

最後に、校長先生が、一番きれいだなと思う日本語は何だと思いますか。

「ありがとう」という言葉です。だから、見た目の悪い校長先生ですが、せめて普段からこのきれいな「ありがとう」という言葉をたくさん使うようにしています。そして、今年度も残り少なくなったこの時期は、畠部小学校でも「ありがとう」という言葉がたくさん聞かれるといいと思っています。明日は、ありがとう集会です。よい会にしましょう。

以上でお話しを終わります。